

★直方市立図書館 三二新聞★
そっとおとどけ 2022年9月号 VOL.220



参加無料

としょかん♪
こどもまつり

10/15(土) 10:30 ~15:00

〔ユメニティ小ホールにて〕

アニメ映画の上映会やボランティアグループの合同おはなし会、工作など、親子で楽しめる秋のイベントです♪

※工作は事前申込制です。

受付:9/17(土)~10/2(日)

※詳しくはチラシをご覧ください。

新着! ☆こども向けDVD☆

「ONE PIECE STAMPEDE 劇場版」

「アーヤと魔女」

「驚き!海の生きもの超伝説」 ほか9点

9/23(金)

10:30

~12:30

筑豊文庫資料室講座開催!

「渡波屋から世界へ」

受付:9/1(木)~9/20(火)

※詳しくはチラシをご覧ください。

一展示案内一

一般:「美味しい」をみつけよう

…10/25(火)まで

児童:自然を知ろう!科学を学ぼう!

…9/27(火)まで

Facebook 図書館 HP



直方市山部 301-11 | 火~土 10:00~19:00
 ☎ 0949-25-2240 | 日・祝 10:00~17:00

直方市立図書館カレンダー

※イベントは変更・中止になることがあります。

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

太字は17時閉館、■はお休み
 ○は行事のある日です

- 13(火) 11時~ 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 16(金) 10時15分~ 大人の朗読講座(*事前申込制)
- 17(土) 11時~ おはなし会(赤ずきん)
 14時~ ブラックパネルシアター★(なのはな教室)
- 18(日) 10時~ おもちゃ病院◆〈受付13時まで〉
 14時~ おはなし会(れろの会)
- 23(金) 10時30分~ 筑豊文庫資料室講座(*事前申込制)
- 25(日) 11時~ おはなし会(図書館職員)
 14時~ 土曜シアター★『ザ・サークル』(110分)
- 1(土) 14時~ おはなし会(やまびこ会)
- 8(土) 11時~ おはなし会(赤ずきん)
- 11(火) 11時~ 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 15(土) 10時~ おもちゃ病院◆〈受付13時まで〉
 11時~ おはなし会★(まほうの箱、れろの会)
- 23(日) 11時~ おはなし会(図書館職員)
- 29(土) 14時~ おはなし会(クローバーの会)
- 30(日) 14時~ 土曜シアター★『望郷』(94分)

こどもまつり

★ユメニティ小ホール ◆図書館前ロビー その他:図書館おはなしコーナー

毎月、司書がひとつのテーマにそって本を紹介します。※【 】は司書のペンネームです。

「落語少年サダキチ」 [いち] 田中 啓文//作 K913タ

道ばたで偶然出会った老人の落語を聞き、小学 5 年生の忠志の人生は激変する。お楽しみ会でクラスメイトに落語を披露することになり、果ては江戸時代の大坂にタイムスリップ・・・!? 平凡な少年の運命を変えた、老人の正体とは・・・? 忠志の落語の腕前にのびしろを感じた人は、続きの巻も読んでみてね♪ 【K】

「タキミカ体操」 瀧島 未香//著 498.3タ

運動したいけれど、きついのは続かないと思っている方。65歳で運動をはじめ、なんと90代でインストラクターをしているという“タキミカ”さんが考えた、こちらの体操はいかがでしょうか。何歳からでも、運動経験がなくてもできる体操が、タキミカさん自身の写真で多数紹介されています。いくつになっても伸びしろは無限大! 前向きなタキミカさんにパワーをもらえる一冊。【ペコ】

「カラフル」 森 絵都//著 YFモ

天使に「抽選にあたりました!」と言われて、ぼくの魂は、自殺した中三の男の子、小林真の体に移った。過ちを犯して死んだらいいぼくは、その過ちの大きさを自覚したら無事生まれかわることができるらしい。魂として伸びしろたっぷりのぼくが、一から人間関係を築いていく。シビアナ現代社会の問題をちりばめた奇想天外なストーリーでぼくの成長がユーモアたっぷりに描き出されています。【スタ子】

「未来をつくる仕事図鑑1・2」 学研プラス K504カ

空飛ぶ車の開発、ロボット技術の研究など最先端の仕事が紹介されている本です。実際に働いている方々のキャリアの紹介も興味深いです。おすすめは「こんな仕事が未来にあるかも」のページ。今よりもっと楽しく、便利な世の中を想像させてくれます。技術力の伸びしろが感じられる、大人が読んでも楽しい児童書です。【kn²】

「線は、僕を描く」 砥上 裕将//作 FT

突然の事故で両親を亡くし、深い孤独と喪失感で生きる意味を見失っていた「僕」は、バイト先で出会った水墨画の大家、湖山先生に声を掛けられ、水墨画を描き始める。水墨画を通して世界が広がり始めた「僕」に、先生は展覧会への出品をうながす。

苦しみや悲しみの中でも伸びしろはある。心の再生を描いた本。【Bee】

「あやうく一生懸命生きるところだった」 ハワン//文 イラスト 159ハ

競争社会の厳しい韓国で、仕事を辞めて少し休んでみることにした作者。その言葉の数々が、心身の凝りをジワジワほぐします。作者は時に自虐的な言い方をしていますが、パッと開いたページのところどころに、次の自分につながる可能性を秘めた言葉を見せてくれます。疲れた時に気楽に読んでみてはいかがでしょう。【るー】